

報 告 書

(3 班)

開催日時	平成 2 5 年 1 月 2 8 日 (月)		
開催場所	広田小学校 (体育館)		
出席議員	挨拶 藤倉 泰治 (班長)		
	司会進行	佐竹 強	
	報告者	清水 幸男 (幹事)	
	記録者	菅原 悟 (副班長)、菅野 定	
参加人数	2 8 人		
主な要望 提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広田地区の防災集団移転事業の進捗状況は。</li> <li>・ 報告会の参加者数が少ないが、いかがなものか。</li> <li>・ 報告会開催について防災無線放送等で告知できないものか。</li> <li>・ 泊地区防潮堤の竣工時期の見通しは。</li> <li>・ 防火水槽設置個所の標識を早期に復旧してほしい。</li> <li>・ 防災集団移転地区に隣接した既存の住民には市より全く計画説明がない。</li> <li>・ 田谷地区の診療所跡地からの県道は拡張されないのか。</li> <li>・ 報告会は各地区ごとに対応した詳しい資料にて説明してほしい。</li> <li>・ 道路は復旧だけでなく、新設での整備をしてほしい。</li> <li>・ 広田、今泉保育所の高台移転を早急にしてほしい。</li> <li>・ 小学生や中学生が運動できるよう、仮設運動場を早急に整備してほしい。このままでは、運動しないまま子供たちが卒業してしまいます。</li> <li>・ 広田から小友間の道路を復旧整備を早急にしてほしい。</li> <li>・ 市内人口減を把握しているのか。市外への転出者を戻す方策を考える必要がある。</li> <li>・ 通学路に防犯灯の設置を促進してほしい。</li> <li>・ 地区負担にて設置済の防犯灯を市負担として請求できないのか。</li> <li>・ 広田に移設構想の野外活動センター建設の進捗状況は。</li> <li>・ 震災において崖の法面等の危険区域が多くあるが、地域防災計画の見直しを早急にしてほしい。</li> <li>・ 有線放送の復旧に補助金を活用できないのか。</li> </ul>		
所 感	<p><b>藤倉泰治</b></p> <p>これからのまちづくりで貴重な意見が多く出された。被災した広田保育園の早期移転、子どもの仮設運動場の確保や新しい幹線道路のことなど、どうすればいいかも含め、切実な声を聞くことができた。議会報告会の持ち方や中身、参加者を増やすための意見もあり、今後の</p>		

議会報告会に生かす必要を感じた。高田のことよりも広田地区のことを説明してほしいという意見もあったが、これからの陸前高田市や中心地のあり方について議会側からもっと積極的に説明すべきと思った。

#### 菅原悟

防災集団移転計画に伴い、予定地に隣接している住民への説明が全くなく遺憾に思う旨の意見がだされたが、事実であれば、早急な当局対応の必要があると感じた。

また、広田地区は震災時に道路が寸断され孤立状態となったが、そのことを踏まえ、道路の新設・回収の要望が多く出された。

#### 清水幸男

震災復興2年目として、子どもたちへの教育環境整備、保育園の移転や広田半島の孤立対策等多くの意見が寄せられたほか、地域に関する課題を主とした報告会や地域ごと特徴ある進め方のような、「市民が求める」報告会のあり方の検討について感じた。

#### 菅野定

広田地区ならではの問題があり、震災時に孤立したことで、それに対する対策、整備の重要性を認識できました。たとえば、有線を復旧させたいのでその補助を求めるなどがありました。

また子供たちの体力づくりに欠かせない運動場の整備は子供の成長の速さ・運動・スポーツに要する時間の大切さが大人の感覚以上であり、その対応は急がなければいけない。とても重要な問題であると分かりました。

陸前高田市議会議長 伊藤明彦 殿

平成25年2月18日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤倉泰治 ㊟